

Illustrator で絵型を描く。

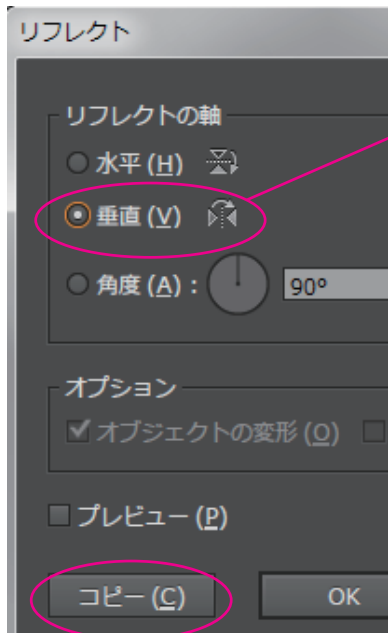
ペンツールで描く。



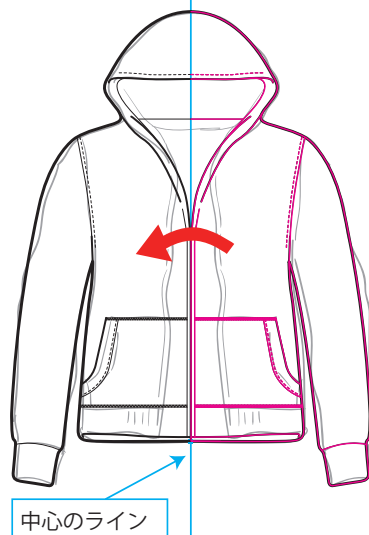
選択ツールで半身を選択した後
リフレクトツールを選び
中心のラインを
Alt を押しながらかlickする

設定のウィンドウが開く。

リフレクトツールは
回転ツールの中に入っているので
回転ツールを長押しして選ぶ。



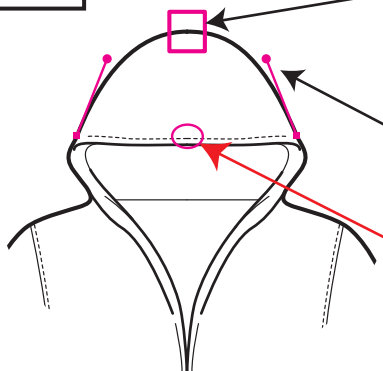
絵型を垂直に反転するので垂直を選びコピーを押す
(水平の場合は水平を選ぶ大抵水平と垂直しか使わない)



ダイレクト選択ツールを使って修正してみる。

反転して必ず起こりえる事が
あれっ、こんな筈では、と言う事は良くあることだ
妙に絵型が細かったり太く見えたり
或いは何となく不格好だたりするものだ。
そこでダイレクト選択ツールを使って修正してみる。

ダイレクト選択ツールはアンカーポイントを
移動して形状を変えたり
ハンドルを長さを調整してカーブの大きさを
変更するのに使用する。



ダイレクト選択ツールで
四角の辺りを囲み
アンカーポイントを真上に移動した。

ハンドルを
上方向に伸ばして形を整えた。

反転した場所は連結しておく
パスの端と端を選択し **Ctrl+J** で連結出来る
線端同士をダイレクト選択ツールで囲み **Ctrl+J**
もしくは、オブジェクトメニューからパス→連結



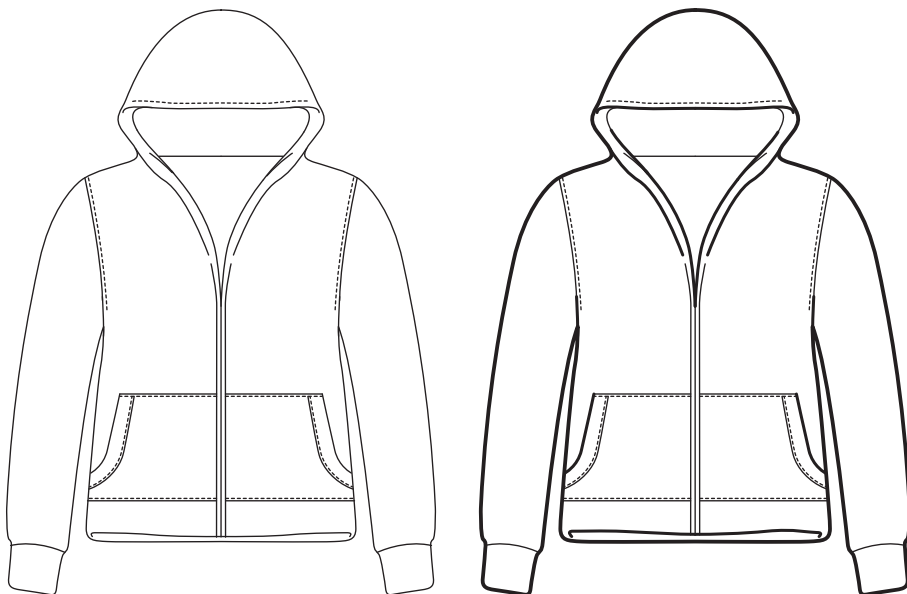
線の強弱と見え方の違い。

絵型を描く上で少しでも良く見せよと思ったら
線の強弱をつけたほうが良い。

左右の絵型は線の強弱のある絵型と
無い絵型を並べたものである。

大した違いは無い様に見える人もいるかも知れないが
実際に形状がハッキリと分かるのは
線の強弱のある絵型である。

この強弱の付け方は
実際に絵型を数メートル離れた場所に置いた際に
ハッキリと見える線を太く描き
よく見えない様な線は
細い線で描くという非常に理にかなった技法である。
では、最もハッキリと見える線は何か？
当然洋服の輪郭である。
次にハッキリ見える線は
布の折り重なっている部分（この場合だと
フードの内側）や
明らかに繋がっていない部分である。
実際に数メートル離れたら切り替えの線やステッチ等は殆ど見えない
そういった線は細く描くべきである。



強弱を付けた絵型は輪郭 0.5mm で描いた。
フードのライン等は 0.4mm
切り替えの線やステッチは 0.18mm と
3段階の太さを使い分けた。
特に線の太さに決まりは無いが参考にしてほしい。